

# 授業科目 社会福祉原論 II

【担当教員名】 横山 豊治		対象学年	1	対象学科	社会
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		○			
【概要】					
<p>1. 福祉政策の課題について理解する。</p> <p>2. 福祉政策の構成要素について理解する。</p> <p>3. 福祉政策と関連政策の関係について理解する。</p> <p>4. 相談援助活動と福祉政策との関係について理解する。</p> <p>(介護福祉コースの学生はこれらの福祉の原理を生活支援の実践に活かすことができるように学んでもらいたい)</p>					
【学習目標】					
<p>1. 社会問題と福祉政策の現代的課題について理解する。</p> <p>2. 福祉政策の国際的な動向を理解する。</p> <p>3. 福祉政策における政府、市場、家族、個人の役割を理解する。</p> <p>4. 福祉政策と教育・住宅・労働等の政策との関係を理解する。</p> <p>5. 相談援助活動と福祉政策の関係を理解する。</p>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	福祉政策の関連領域 1				講義（以下、同）
2	福祉政策の関連領域 2				
3	福祉政策の関連領域 3				
4	福祉政策の関連領域 4				
5	福祉政策と社会福祉制度				
6	社会福祉制度の体系 1				
7	社会福祉制度の体系 2				
8	日本の社会福祉の歴史 1				
9	日本の社会福祉の歴史 2				
10	欧米の社会福祉の歴史 1				
11	欧米の社会福祉の歴史 2				
12	福祉サービスの供給				
13	福祉サービスと援助活動				
14	福祉政策の課題と展望				
15	福祉政策の国際比較・まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		新・社会福祉士養成講座 4『現代社会と福祉』第4版	後藤玲子、武川正吾、古川孝順編	中央法規	2014・2,600円＋税
参考書					
その他の資料					
【評価方法】			【履修上の留意点】		
定期試験の結果で9割程度の評価を行い、授業中に複数回実施する小テストの回答状況で1割程度の評価を行う。			社会福祉に関して現実に起きている事象に関心を持ち、授業の内容と関連づけて自分なりに考察する習慣を身につけること。		